



# 東実同窓会報

No.28

発行 〒144-0051 東京都大田区西蒲田8-18-1 TEL 03-3732-4481

東京実業高校同窓会会報部  
http://www.tojitsu-dosokai.com

## 会長就任にあたり

会員の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より同窓会の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

私は、昨年 6 月に開催されました平成 28 年（第 36 回）定期総会におきまして、平成 16 年から 6 期・12 年間に亘り会長を務められた本田位公子第 6 代会長の後を受け、会長を務めさせて頂くことになりました第 42 期の臼田佳彦です。

同窓会の会員の中には、広く社会で活躍されている著名の方々がいらっしゃる中、浅学非才な私が同窓会の活動歴が長いということで、選任頂きました。

そんな微力な私ですが、本会の運営に当たりましては、“ふれあいと語らいの同窓会”をモットーに、同窓会の本来の目的である会員相互の交流と親睦を推進しつつ、草創期に活躍された諸先輩方と若い同窓生とのネットワークを集約して、本会の活性化を図り母校と同窓会の発展に寄与できるよう、鋭意努力いたす所存でございますので、何とぞ一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

私が会長に就任してから早くも半年が過ぎ、新年



会 長  
臼田 佳彦 (第 42 期)

を迎えました。振りかえりますと私は昨年の 10 月 4 日（火）大井陸上競技場において開催された体育祭に初めて参加しました。そこで在校生の皆さんが競技に真剣に取り組む姿を拝見し、このような生徒たちと指導される先生方がいる東京実業高校を誇りに思うと同時に素晴らしい学校だと再確認させられました。

今年も 360 余名の後輩（会員）が卒業され、それぞれの進路先へと旅立ってゆくわけですが、どうか健康に留意されご活躍されることを祈念致すとともに会員の皆様にとって今年が良き年でありますよう心よりお祈り申し上げます。

平成 29 年 1 月 10 日

### 東京実業高校同窓会会員総数

第91期（平成28年3月）卒業生まで

( ) 内の数字は女子会員

会 員 数	総数	商業系			工業系		普通科
		うち女子					
昼間部（同窓会） （大15～平28）91期	31,628 (3,233)	14,265 (2,612)	16,866 (8)	4,723 (845)			
夜間部（蛍窓会） （昭4～昭52）49回	3,586 (228)	2,223 (228)	1,363				
専門学校（玉葉会） （昭35～昭48）14回	640 (4)	132 (2)	508 (2)				
第91期 卒業生数	商業系	工業系				普通系	
		機械科	電気科				
			電気	IT			
合計	311	0	84	52	27	148	
男子	278	0	84	52	26	116	
女子	33	0	0	0	1	32	

### ☑ 卒業記念アルバム貸与・贈呈のお願い!

同窓会では、歴代の卒業記念アルバムを所蔵し、東実祭開催の際に展示して来場者に公開しております。

所蔵アルバムは、度々の保管場所（部屋）の変更などにより残念ながら、欠損年度（下記の表参照）があり全ての卒業年度が揃っておらず、いろいろな機会を通して会員の皆様にお願ひし、収集して参りました。しかしながら、個人的にも大切な思い出の品であり揃えることが出来ません。皆様方の中に貸与または贈呈して下さる方がおられましたら、是非ご協力くださいますようお願い申し上げます。なお、貸与の場合はコピー後、速やかにお返し致します。

欠損年度（卒期）	
2014年3月卒業（89期）	1986年3月卒業（61期）
1993年3月卒業（68期）	1981年3月卒業（56期）
1987年3月卒業（62期）	1978年3月卒業（53期）

(総務部)

## 2016 年を振り返って

理事長  
上野 雅子



今年も残り少なくなり、何かと忙しい時節となってきました頃に、この原稿を書いております。まだ1ヶ月半程残っていますが、2016年を振り返ってみますと、今年も多く为天災が私達を襲いました。

20世紀後半からの地球温暖化問題は、いまだに解決をみず、さらに地球上の生態系の変化、海面温度上昇による天候の異常性等、私達が生きていく上で大切なものが、次々と失われていきます。各国が集まり、いろいろな対策が話し合われていますが、コストの負担や対策的な優先度に関して、各国の足並みが揃わないといういつも通りの悪循環です。

今年は台風も数多く日本に上陸し、南は鹿児島県から北は北海道にわたり、多くの地方に大きな被害をもたらしました。また、4月には、思いがけない熊本県で地震が発生し、改めて地震国日本という脆い国土に震撼させられました。台風は海面の温度が高いため、今後もさらに巨大化する恐れがあるとのこと、地震は10月に鳥取地方でM6.6、11月に福島沖でM7.4と、地震国日本の脅威はとどまることはなく、益々人間の生活を脅かす存在となることを思うとき、自然の力のすごさと人間の無力さをつくづく感じます。

さて、東実にとりまして大変悲しい出来事がありました。同窓会々長を長らく続けていただき、大きな存在でありました村松濱代様が、ご逝去なさいましたことは、学校にとりまして、また同窓会にとりましても本当に悲しいことでした。誰もいつかはこの世からいなくなると解っていても、もうお元気な姿を拝見出来ないと思いますと、淋しさと共に心が痛みます。今はただ村松様のご冥福をお祈りするばかりです。

そしてその後、今年の6月迄会長を続けていただきました本田位公子様のご主人が、突然ご逝去されたというお知らせは、あまりにも急な出来事で信じられない思いでした。前日迄お元気だった方の突然の死は、ご遺族にとりましてその悲しみはいかばかりだったことかと、お慰めする言葉もありませんでした。

お知りあいの方々とお別れは、生前のお姿を思い懐かしく過去を振り返るしかありませんが、同窓会が今後も臼田新会長様のもと、益々発展し、これまで通りに皆様とお会い出来る楽しい会でありますようお願いいたします。

(平成 28 年 11 月中旬に執筆して頂きました。)

## 本校におけるキャリア教育

学校長  
知念 義裕



第10回キャリア教育優良教育委員会、学校及びPTA団体等文部科学大臣表彰式が平成29年1月17日、国立オリンピック記念青少年総合センターで行われ、本校は高等学校の部で文部科学大臣表彰を受賞いたしました。卒業生の皆様にこの名誉ある受賞をご報告できますことを職員一同大変嬉しく思っております。

本校におけるキャリア教育の取り組みについて以下、簡単にご紹介いたします。2年生の希望者を対象に3日間から5日間、夏休みを利用し、大田区工業連合会、東京蒲田ロータリークラブ、大田区を中心に活動する地域社会人によるキャリア教育支援組織「キャリア教育推進協議会21(代表:大塚洋先生・本校理事)」などと連携、協力をいただきながら、生徒一人ひとりが社会的・職業的自立に向け、希望する業種や職場でのインターンシップを体験します。10回程度の事前研修を通し、挨拶の大切さ、心構え、ビジネスマナー等を学びます。また、受入企業への事前訪問、そしてインターンシップ終了後はお世話になった企業・事業所へのお礼状、自己評価。日誌、報告書を作成します。9月下旬にはお世話になった企業・事業所の皆様、保護者、1年生を対象にしたインターンシップ報告会でプレゼンテーションを行います。

11月にはインターンシップで体験したことや学んだことをより深めることを目的とした、「高校生のための未来講座『働くとは?』』と題してインターンシップ・フォローアッププログラムを実施します。これは大田区工業連合会やキャリア教育推進協議会21、インターンシップ協力事業所の社会人、そしてキャリア教育を通じて交流のある大正大学地域構想研究所に所属する大学生の皆さんのご協力をいただいています。社会人、大学生、そしてインターンシップに参加した高校生の三者が、インターンシップを体験して得たこと、気付いたことを中心にグループワークによる討議を行います。そして参加者全員が働くということについての考えを対等に話し合うことにより、社会人・職業人に必要な能力や態度などについて新たな発見をするという充実したプログラムとなっています。本校のキャリア教育を推進するため、校内にキャリアセンターを設置。全校体制で組織的・系統的に行うことを旨とし、本校独自の「キャリアノート」をホームルームで活用するなど、入学後の早い段階から社会を見つめ、進路について考える機会を作るとともに、学年ごとにキャリア通信「フェニックス」を発行し、生徒とともに保護者への情報提供を図っています。

## 学校の近況報告



副校長 小畑 雅一

平成 28 年度は 4 月に 445 名の新生を迎え、全校生徒 1,166 名でスタートしました。

以下に、一年間の学校のトピックスをまとめます。

### ■キャリア教育優良校として文部科学大臣より表彰が決定

実業高校として予てよりキャリア教育に力を入れてきた本校が、今年度文部科学大臣よりキャリア教育優良校として表彰されることとなりました。

これは平成 24 年度より始まった「インターンシップ」をはじめ、その事後研修として実施した「インターンシップ・フォローアッププログラム」や、ホームルームにおける「キャリアノート」の活用などが、総合的に評価された結果だと思えます。

表彰式は去る 1 月 17 日に国立オリンピック記念青少年総合センターで開催され、知念校長が表彰状を受け取りました。

本校ではこれを契機とし、ますます生徒たちの未来を照らすキャリア教育に力を注いで行きたいと思えます。

### ■東実スカラシップ（奨学金）

昨年度よりスタートした「東実スカラシップ」により、多くの生徒は普段の授業への取り組みはもちろん、資格取得や技能取得への意欲を高めています。

このスカラシップ制度の詳細については、前号に掲載させて頂きましたが、その内容は学校と親師会、そして同窓会よりおのおの 50 万円の寄付金を頂き、総額 150 万円の範囲で高校生活を頑張っている生徒たちに奨学金を給付しようとする制度です。

奨学金には「学業奨学生」、「資格・技能奨学生」、「スポーツ・文化奨学生」、そして「特別奨学生」があり、昨年度は延べ 83 名の生徒たちが奨学生の対象となり、特に「資格・技能奨学生」に選ばれた生徒は 71 名に上り、取得した資格の難易度と取得数により 5 万円から 1 万円の奨学金が給付されました。

なお、給付生徒たちへの奨学金給付式は 6 月 4 日に開かれた同窓会総会でも行われ、多くの同窓生の前で、頑張った現役生たちが表彰を受けることが出来ました。

この制度は今後も継続させ、生徒たちが学校生活へのモチベーションを高める一助として行きたいと思えます。

### ■部活動の報告

#### ●野球部

夏の選手権予選は残念ながら初戦で惜敗しましたが、秋の都大会では実力を発揮し、強豪修徳高校などを撃破し、都ベスト 16 に進出しました。この結果、春の都大会出場が決まり、この大会で上位進出を果たすと、夏の選手権予選でのシード権を獲得出来ます。甲子園を目指しての戦い、これからも応援をお願い致します。

#### ●陸上競技部

昨年 11 月 3 日に荒川河川敷コースで開かれた全国高校駅伝競走都予選において、男子は 2 位（記録 2 時間 11 分 52 秒）入賞を果たしましたが、残念ながら全国大会への切符を獲得することはできませんでした。また、昨年度から出場している女子は 13 位（記録 1 時間 19 分 05 秒）と健闘しました。男女ともに来年度の更なる活躍を期待したいと思います。

#### ●サッカー部

サッカー部は今年度より野球部、陸上競技部、マーチングバンド部に続いて 4 つ目の強化クラブに指定されました。今年度昇格した強豪校の集まる東京 T1 リーグでは苦戦を強いられましたが、全国選手権の東京都予選では実力を発揮し、ベスト 8 まで進出しました。また、今年度は女子サッカー同好会も発足し、活動を始めています。男女共々サッカー部のこれからの躍進に期待したいと思います。

#### ●マーチングバンド部

昨年度は全国大会出場を逃し、今年こそはと部員、スタッフ一丸で頑張った結果、昨年 11 月に行われた関東大会で見事金賞を受賞し、12 月 18 日埼玉スーパーアリーナでの全国大会に駒を進めました。全国大会では小編成の部で金賞を獲得し、マーチングバンド部の伝統の力を示すことが出来ました。

### ■教職員の永年勤続表彰及び異動（敬称略）

#### ●永年勤続者

勤続 30 年：	毛塚 卓夫(英語)	
勤続 20 年：	小川 欽也(体育)	小島 茂(商業)
	淵田 和良(商業)	藤吉 大介(英語)
勤続 10 年：	松田 稔(体育)	木村 聡(事務)
	高橋 嘉秀(用務)	

#### ●教職員の異動

退職教職員：	増田 修一(工業)	岩田 孝文(体育)
	木内 美穂(英語)	西濱百合子(養護)
	高橋 嘉秀(用務)	佐藤美代子 (山中湖学寮管理)
新専任職員：	森 昌芳(体育)	小谷 司(工業)
	砂本 眞(工業)	清水 博信(社会)

#### ●教職員の訃報

元教員：	岡野 美和子(英語)	平成 28 年 3 月逝去
	遠藤 幸喜(体育)	平成 28 年 10 月逝去

————— 平成 29 年 2 月 1 日現在 —————

## 機械科の近況報告



機械科科长  
村山 隆

平成 28 年度の機械科は、新入生 127 名を迎えました。今年度の機械科の在籍数は、11 月 1 日現在 335 名で、内訳は 1 学年 127 名 (3 クラス)、2 学年 86 名 (2 クラス)、3 学年 122 名 (3 クラス) となります。

各学年のクラス担任は、次の各先生です。

1 学年	A 組	片山 智裕	(社会)
	B 組	宮地 裕	(国語)
	C 組	村上 信人	(機械)
2 学年	A 組	藤田 稔	(機械)
	B 組	小林 正文	(社会)
3 学年	A 組	村山 隆	(機械)
	B 組	関根 勝	(数学)
	C 組	児島 大祐	(体育)

実習では、3 年生に NC 旋盤、ロボドリル (マシンングセンタ)、レゴマインドストーム (マサチューセッツ工科大学とレゴ社が共同開発した、教育用ロボットキット) を導入し、充実した授業を行っています。

資格取得にも従来通り力を入れております。

小型車両系建設機械特別教育講習に 70 名合格、高所作業特別教育講習にも 53 名合格しました。また、今年度も国家試験「第二種電気工事士」に機械科 2 年生が、3 名合格しました。

3 年生においては、11 月 15 日現在、大学 26 名、専門学校 31 名、就職 29 名の進路が決定しております。

同窓会の益々のご発展と同窓生の皆様のご多幸をお祈りし、機械科の近況報告とさせていただきます。



3Dプリンタ

【機械科実習室の設備】

アームロボット

## 電気科の近況報告



電気科科长  
深川 剛

電気科に平成 28 年 4 月より実習助手として茂木次郎先生、福島光先生が奉職され、新しい体制で平成 28 年度がスタートしました。今年度は電気コース 66 名 (男子のみ)、ゲーム I T コース 31 名 (男子 30 名・女子 1 名) の 97 名の新入生を迎えることが出来ました。

11 月 1 日現在、電気科は電気コース 196 名、ゲーム I T コース 96 名の合計 292 名の在籍数となり、クラス数も昨年度同様、各学年電気コース 2 クラス、ゲーム I T コース 1 クラスの計 9 クラス体制となっています。

毎年同窓会報で報告しております、「第二種電気工事士」の合格者ですが、今年度は 52 名 (電気科 49 名、機械科 3 名) の生徒が実技試験にチャレンジして 52 名全員合格することができ、平成 23 年度以来 5 年ぶりに実技試験合格率 100% を達成することが出来ました。

電気科が工事士の講習をスタートしてから、合格者数としては歴代 2 位ですが、筆記と実技試験両方を含めた総合合格率は歴代 1 位になり、生徒たちの地道な努力の積み重ねが功を奏した結果となりました。また、ゲーム I T コース 2 年生から女子 2 名も合格し、電気科から初めて女子生徒の合格者が誕生しました。

「第一種電気工事士」も 10 月に行われた筆記試験に過去最高の 8 名 (女子 1 名含む) が合格し、12 月上旬に行われた実技試験の結果、女子 1 名 (これも電気科初) を含む 7 名 (過去最高) が見事合格しました。

電気工事士の結果中心の近況報告となりましたが、来年度も嬉しい報告が出来ますように電気科一同指導して参りたいと思っております。今後ともよろしくお願い致します。



平成 28 年度 電気工事士試験合格者

## 普通科の近況報告

### ビジネスコース



ビジネスコース科長  
湯尻 英明

現在、普通科ビジネスコースには 385 名の生徒が在籍し、専門性を高め、様々な検定試験（簿記・情報処理・ビジネス文書・社会常識マナー）に挑戦することで個人の能力を向上させています。

ビジネスコースでは学校行事にも積極的にに関わり、11 月の東実祭では各種競技会を開催しています。

今年度、珠算部門では 1 年今井駿輔・2 年中村綾花・3 年町田直輝・3 年松浦琢人、簿記部門では 1 年酒井利恭、下村幸太郎・2 年館石拓弥・3 年中村えり奈、ワープロ部門では 1 年平田画夢野・2 年松林直人・3 年浅野太一が優勝しました。掲載写真はその時の様子です。

また、今年度も「第 6 回ビジネスフェスタ」を開催し、販売実習・店舗運営を経験し、普段学んだ知識、技術の実践の場としました。

この出店には東日本大震災の被災地である東北 3 県と熊本県をクラスごとに担当し、復興支援の一役を担えるように物産品を調べ、販売につなげています。

特に 3 年生は仕入・装飾・販売・マーケティング等を考え、1, 2 年生にはマナーや接客、ポスター制作も行い、東実祭期間の 2 日間ですべてのお客様を引き付けられるか、貴重な経験を積めたと思います。

この経験が将来の進路決定の材料につながることを望んでいます。



東実祭にて実施した「各種競技会」会場

### 文理コース



文理コース科長  
藤吉 大介

昭和 51 年に設置された普通科は、平成 13 年より普通科文理コースと名称を変更したものの、設置当時から変わらず「4 年生大学進学」を目標とし、平成 27 年度で 41 年目を迎えました。世間での大学進学に対する意義は、時代とともに変容しておりますが、その必要性は変わりません。特に、高校生の二人に一人以上が大学に進学する現代において、本校における文理コースの存在意義はますます高まっています。

さて、文理コースでは、次の三点を指導の重点としています。

- (1) 基礎学力の定着。
- (2) 生徒たちのレベルに合った学習の展開。
- (3) 大学進学に向けた実力の向上。

(1)については、毎週月曜日の 1 時間目に到達確認テストを実施しています。国語・数学・英語の一週間分の授業の定着度を確認し、合格点に達していない場合は、放課後の補習で定着を図っています。さらに今年度は、一般常識についても出題し、広く世の中について関心を高めるよう促しています。

(2)については、特に数学で習熟度別授業を展開し、生徒のレベルにあった授業で、理解度を高めるようにしています。また、希望制で、オンラインで予備校の講義を聞き、問題演習をしていく「スタディサプリ」なども導入し、学力の向上を図っています。

(3)では、城南予備校から講師を派遣してもらい、1・2 年生の希望者を対象に土曜講座を実施しています。年間 20 回の土曜日が土曜講座となります。土曜講座のない土曜日には、Benesse の模試と英検の受験日となりますので、土曜講座を受講している生徒は、学校 6 日制という意識で学習しています。内容は、英語と数学に特化しました。さらに今年度は、土曜講座を実力診断テスト等、ベネッセ模試での GTZ（学習到達ゾーン）の向上のためと位置付け、通常の授業に加え、模試の振り返り授業も設定しました。

文理コースには、12 月 1 日現在 140 名の生徒が在籍しています。12 月 7 日の「文理コース集会」では、知念校長先生による講話、検定取得などの奨励賞授与、そしてセンター・一般入試に挑む 3 年生への壮行会が行われました。

今後も文理コースは、時代の変容に身をゆだねつつ、伝統を継承してまいります。



東京実業高校のホームページ  
<http://www.tojitsu.ed.jp/>

随時更新して学校の最新情報を紹介しております。

## 部活動報告

### 男子バスケット部

# 「初心、忘るべからず」

男子バスケット部  
顧問 澁田 和良



私が顧問 1 年目の時、部員達と一緒にプレーすることがありました。部員との人間関係も築けていない状況でしたが、バスケをしているとチームメンバーとの協力、負けて悔しい思いを抱いたことも覚えています。

そんな時、スポーツというのは世代・立場を超えても同じルールのもとで共に競技でき、人間関係も深められる素晴らしいものだとして再認識しました。部員達も入部当初は期待と希望に胸を膨らませています、いざ困難に遭遇すると後ろを向いてしまうこともあります。そういう時でも、一生の友となりうるメンバーと共に、入部時の初心を忘れず懸命に努力する精神を培って欲しいと思っています。

高校生活という時間は一瞬に過ぎますが、一生鮮明な記憶として刻まれるものです。そんな彼らの貴重な時間を預かっているという責任感を感じ、バスケ愛を持つ同じ仲間達と共に楽しみながら、初心を忘れることなく彼らの良さを引き出し、人としての幅を広げていきたいと考えています。

現在、部員 14 名という少数団体ではありますが、プレーの質向上とともに人間の質も深めていき、同窓生の皆様からも応援して頂けるような組織を創り上げていけるよう精進致します。



## 生徒会報告



生徒会副会長  
広野 龍樹

今年度の生徒会執行部は、1 年生 2 名、2 年生 8 名の計 10 名で活動しています。

昨年や一昨年に比べて少ない人数で活動をする中で、昨年以上の成果を出すのは大変でしたが、やり遂げたときの達成感は大きいものでした。

1 年間の活動を振り返ると、まず 4 月に行われた新入生歓迎会です。この会の企画・運営は、昨年度の生徒会執行部の先輩方と協力して行いました。新入生の皆様を温かく歓迎し、部活動紹介や行事、委員会の説明を中心に新入生が学校生活を楽しく始められるように企画しました。

6 月には生徒会役員選挙が行われました。そこで新しい三役が選ばれ、私たち新役員 10 名が活動していくことになりました。私は副会長になりましたので、一層身を引き締め、会長をサポートするなど陰ながら生徒会執行部を支え、責務を全うするよう努力しようとして決意しました。また、同月にもう一つ生徒総会が行われました。この生徒総会は、3 年生の先輩方から 2 年生の私たちに引き継がれて初めての行事でしたので、わからないことも多くありましたが、役員全員で協力し、1 年間の生徒会活動案と要望案を承認して頂きました。

7 月にはイベントプランニングという少人数でのグループ活動を体験し、交流を深めました。また、中学生対象のサマースクールでは、学校紹介やクイズを作成しました。

9 月には、先生と生徒の懇談会を開催し、生徒総会で承認された要望案を先生方と検討し、学校をより良い環境にしていくことなどを協議致しました。

10 月には、本校の二大行事の一つである体育祭が行われました。役員数が少ないこともあり準備や司会進行、運営の難しさを知りました。

そして 11 月には、本校二大行事のもう一つ「東実祭」が行われました。昨年は大成功を収めたので、今年は昨年以上の行事にしたいという思いもあり、学校全体の準備期間よりも早い段階から準備に入り、その思いが学校内に伝わり、その結果として昨年以上の「東実祭」となり盛況に終わることが出来ました。

これから我々生徒会執行部は、今まで以上に全力を尽くして活動して行きますので、ご支援の程、宜しくお願い致します。

平成 28 年 11 月 22 日



## 定期総会報告

平成 28 年度（第 36 回）定期総会は、平成 28 年 6 月 4 日（土）プラザ・アペア（蒲田駅西口）にて開催されました。

### ➤ 第 2 号議案 平成 27 年度収支決算報告

#### 平成 27 年度 収支決算報告書 (平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで)

収入の部			支出の部		
科目	予算	決算	科目	予算	決算
前年度繰越金	4,191,544	4,191,544	事務消耗品費	400,000	318,200
入会金	3,200,000	3,110,000	通信連絡費	80,000	103,399
寄付金	0	20,000	ホームページ管理費	170,000	165,650
広告費	35,000	35,000	印刷費	20,000	12,960
総会会費	230,000	195,000	会議費	260,000	427,358
旅行会費	650,000	572,000	総会助成費	200,000	241,324
新年会会費	350,000	378,000	総会会費	330,000	305,000
東実祭	150,000	182,600	旅行助成費	50,000	47,187
受取利息	1,500	461	旅行会費	650,000	572,000
雑収入	200,000	262,000	新年会助成費	50,000	207,648
(総会)	(100,000)	(110,000)	新年会会費	450,000	550,000
(旅行)	(0)	(0)	東実祭助成費	100,000	180,000
(新年会)	(100,000)	(152,000)	東実祭費	120,000	182,600
			会報発行費	550,000	463,316
			慶弔費	250,000	286,200
			卒業記念品費	320,000	290,000
			積立金	100,000	500,000
			交通費	30,000	19,500
			予備費	200,000	0
			雑費	330	0
			奨学金	500,000	500,000
			次年度繰越金	4,177,714	3,574,263
収入合計	9,008,044	8,946,605	支出合計	9,008,044	8,946,605

#### 積立金等次年度繰越金内訳 (別途会計)

金融機関名	前年度残高	増減	利息	本年度残高	備考
定期預金(みずほ)	14,367,417	500,000	3,112	14,870,529	定期預金
定期預金(東京三菱UFJ)	10,113,096	0	2,015	10,115,111	定期預金
合計	24,480,513	500,000	5,127	24,985,640	



#### (定期総会)

平成 28 年（第 36 回）定期総会は、平成 28 年 6 月 4 日（土）15 時より、プラザ・アペアにて開催されました。本田位公子会長の挨拶の後、会長が議長となり次の 5 議案が議場に諮られ、いずれも全会一致で承認可決されました。

1. 平成 27 年度事業報告（第 1 号議案）
  2. 平成 27 年度収支決算報告・監査報告（第 2 号議案）
  3. 平成 28 年度事業計画[案]（第 3 号議案）
  4. 平成 28 年度収支予算[案]（第 4 号議案）
  5. 任期満了に伴う役員改選[案]（第 5 号議案）
- 第 5 号議案の役員改選では、6 期（平成 16 年～平成

28 年）に亘って会長を務められた本田位公子氏（第 34 期）が退任（顧問に就任）され、副会長の臼田佳彦氏（第 42 期）が会長に選任されました。改選後の役員については、次ページの役員名簿の通りです。

議事終了後、親師会（PTA）の潟ヶ谷巖会長、加藤友美副会長様の出席のもと、現 3 年生のスカラシップの認定授与式が行われ、本年度は学業奨学生 3 名、資格・技能奨学生ゴールド 2 名、シルバー 1 名、ブロンズ 19 名、スポーツ・文化奨学生ブロンズ 1 名の生徒が授与され、各代表からお礼の言葉があり、全ての式次第が終わり午後 4 時 5 分に閉会となりました。

**(懇親会)**

総会后、16 時 10 分より総勢 84 名の出席のもとに懇親会が盛大に開催されました。

白田佳彦会長、上野雅子理事長、本田位公子前会長の挨拶の後、ご来賓の東京高校同窓会柴田夏男会長様よりご祝辞を頂き、次いで、村山隆校内幹事長より出席教職員の紹介を頂いた後、小畑雅一副会長（副校長）に学校の近況報告と乾杯の音頭をとって頂き宴に入りました。

半世紀以上の年齢差のOB・OGが交流するという同窓会ならではの楽しい時間を過す中、12 年間という長きに亘って会長を務められた本田前会長にねぎらいと感謝をこめて白田会長から花束が贈呈され、恒例となった校歌を全員で斉唱し、本総会をもって常任幹事を退任された第 30 期の渡邊正信氏の国会恒例の「変形五本締め？」で 20 時 15 分に閉会となりました。

ご多忙中のところ、ご出席下さいました皆様には、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。（総務部）

**➤ 第 5 号議案 任期満了に伴う役員改選**

役員名簿			
(任期：平成 30 年定時総会開催日まで)			
役職名・所属部会	期	氏名	
名誉会長(学校長)	45	知念 義裕	
会長	42	白田 佳彦	
副(副校長)		小畑 雅一	
会計部責任者	37	白銀 正明	
広報部責任者	38	川邊 國造	
事業部責任者	42	瀬川 千尋	
総務部責任者	53	酒井 利夫	
常務部	38	池上 良信	
	44	南 俊和	
	53	斎藤 正千代	
	56	佐々木 健	
	75	山田 慎	
	76	伊藤 英明	
	76	高柳 直生	
	77	山本 真史	
	総務部	28	関根 秀夫
		37	小泉 耕一郎
42		谷内 繁	
42		鈴木 和雄	
70		深谷 和弘	
79		鈴木 亮太	
広報部	29	箕輪 弘数	
	39	戸田 三光	
	42	神野 行雄	
	42	瀬戸 盛義	
	76	高山 峻一	
会計部	59	井上 ひとみ	
	59	小林 由加里	
事務局	41	米倉 美鈴	

役職名・前職	期	氏名
顧問	17	村松 濱代
第 2 代会長	34	本田 位公子
第 6 代会長	39	黒田 芳彦
第 4 代会長		上野 毅
名誉会長		上野 毅
元幹事	16	小宮 龍雄
元監査	18	笠原 忠男
元教員	23	小島 浩
元教員	34	浅賀 英雄
元副会長	36	天野 昇
元職員	37	米田 仁昌
元副会長	38	田所 豊
元副会長	41	滝口 房枝
元校内幹事長	42	井上 昭
元職員	46	飯塚 方子
会計監査		
元事務長		松尾 高佳
会計監査	35	木村 恭久
兼書記		
常任幹事	37	小泉 耕一郎
	75	山田 慎
幹事長	54	村山 隆
副幹事長	46	原田 忠彦
幹事	62	中村 大
	66	深川 剛
	69	小島 健市
	78	児島 大祐

※校内幹事は東京実業高校卒業の「現教職員」です。

**➤ 第 3 号議案 平成 28 年度事業計画**

**平成 28 年度 事業計画**

<b>総務部</b>	<p><b>▲定期総会及び庶務一般に関する事業▼</b></p> <p>1. 平成 28 年(第 36 回)定期総会並びに懇親会の開催(定期総会)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日時：平成 28 年 6 月 4 日(土) 午後 3 時開会</li> <li>・場所：プラザ・アペア</li> </ul> <p>(懇親会)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期総会終了後、隣接会場にて開催</li> <li>・参加費：3,000 円</li> </ul> <p>(卒業後 3 年以内の会員は招待とし、無料とする)</p> <p>2. 拡大幹事会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日時：平成 28 年 11 月 25 日(金) 午後 6 時開会</li> <li>・場所：プラザ・アペア</li> <li>・会費：3,000 円</li> </ul> <p>3. 庶務一般関係</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 会員の名簿の整理及び作成</li> <li>② 各期同窓生に対し、同窓会事業の参加促進活動</li> <li>③ 卒業記念アルバムの管理</li> <li>④ その他</li> </ul> <p>(常任幹事会等の開催)</p> <p>(新幹事との懇親会の開催)</p> <p>(学校行事への出席)</p>
<b>事業部</b>	<p><b>▲年間行事等に関する事業▼</b></p> <p>1. 第 33 回懇親旅行の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日時：平成 28 年 9 月 3・4 日(土・日)</li> <li>・場所：伊豆長岡温泉 三養荘</li> <li>・会費：26,000 円</li> </ul> <p>2. 東実祭への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日時：平成 28 年 11 月 12・13 日(土・日)</li> <li>・催し：同窓会の部屋の設営／校章入りドラ焼き販売／その他</li> </ul> <p>3. 平成 29 年 新年会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日時：平成 29 年 1 月 28 日(土)午後 5 時 30 分開宴</li> <li>・場所：品川プリンスホテル</li> <li>・会費：9,000 円</li> </ul> <p>(卒業後 3 年以内の会員は招待とし、無料とする)</p>
<b>広報部</b>	<p><b>▲会報誌の発行、ホームページの運用管理及び広報活動等に関する事業▼</b></p> <p>1. 会報誌関係</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 会報第 28 号(平成 29 年 3 月 1 日発行)の編集・出版</li> <li>② 第 92 期生(平成 29 年 3 月卒業)に頒布及び役員、卒業されてから 3 年迄の会員、寄稿者、行事参加者及び広告掲載企業等への送付</li> </ul> <p>2. ホームページ関係</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 随時更新等の運用管理</li> <li>② 年間行事等の情報提供及び参加者の募集</li> <li>③ 会員からの住所変更等の各種連絡対応</li> </ul> <p>3. 広報活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 会報誌の広告掲載企業募集</li> <li>② ホームページのバナー広告企業募集</li> </ul>
<b>会計部</b>	<p><b>▲予算・決算及び寄付・賛助金等に関する事業▼</b></p> <p>1. 予算・決算関係</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 現預金の出納業務</li> <li>② 当該年度の予算管理及び収支決算書の作成</li> <li>③ 次年度予算の取りまとめと予算書の作成</li> </ul> <p>2. 寄付・賛助金関係</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① スカラシップ(奨学金)への寄付</li> <li>② 部活への賛助金(全国大会出場等の活躍)</li> <li>③ 常任幹事会で承認可決されたお祝金・寄付金等</li> </ul>

# 主な行事報告

## 第33回 懇親旅行

第 33 回の懇親旅行は、平成 28 年 9 月 3 日（土）～4 日（日）にかけて、参加者 15 名のもとに伊豆長岡温泉・三養荘を宿に 1 泊 2 日で実施致しました。

今回も昨年と同様に現地集合とし、電車利用の方は伊豆長岡駅に 14 時 30 分に集まり宿の送迎車を利用、マイカーの方は直接チェックインしてもらいました。宿の三養荘は、3,000 坪の緑深い壮大な敷地に雅趣に富んだ小瀧や流水を配した庭園が広がり、周辺の緑とともに「水の音」が心を和ませてくれる素晴らしい宿でした。

夜の宴会に先駆け、毎年欠かさずこの懇親旅行に参加されていた村松濱代顧問（第 2 代会長）が残念ながら 4 月にご逝去されましたので、黙祷を捧げご冥福をお祈りした後、臼田佳彦会長より挨拶があり、瀬川千尋事業部部長（副会長）の乾杯の挨拶で開宴となりました。山海の滋味を生かした「懐石料理」を満喫しながら、昔の話とカラオケで大いに盛り上がり、二次会是一部屋に集まり更に話が弾み、楽しいひと時を過ごすことが出来ました。翌日は、宿のスタッフに案内され庭園を見学した後、チェックアウトして世界遺産の韮山反射炉を見学し、隣接の地ビール製造、製茶直売、お土産物などを販売している蔵屋鳴沢で昼食を食べて解散となりました。

（事業部）



三養荘にて -2016.09.04-

## 東実祭

平成 28 年 11 月 12 日（土）～13 日（日）の 2 日間にわたって開催された東実祭に“同窓会の部屋”を設け、歴代の卒業記念アルバムの公開、会員が撮影した写真や自作品などの展示を行いました。部屋の来場者は、同窓生、保護者だけでなく、在校生も訪れて知っている先輩の写真を見て懐かしがっていました。また、校庭のテントにて恒例となった“校章入りドラ焼き”の販売と今年初めての試みとして“綿菓子”の販売を行いました。



ドラ焼きは用意した 2,000 個を終了 1 時間前に完売し、綿菓子も約 200 個を販売しました。販売で得た売上利益

金の一部加算して、学校と生徒会にそれぞれ 3 万円を寄付させて頂きました。

アリーナで行われた特別企画では、サプライズゲストとして同窓生（第 79 期卒）で、お笑いタレント&歌手として活躍されている庄司智春さんが所属事務所（吉本興業）の後輩であるカラテカ矢部さんを同行され、トークライブを開き在校生や来場者を楽しませてくれました。（事業部）



## 拡大幹事会

平成 28 年 11 月 25 日（金）18 時より、プラザ・アペアにおいて、出席者 22 名（同窓会：17 名、学校：5 名）のもとに拡大幹事会を開催しました。

拡大幹事会は、同窓会役員と学校関係者を対象として年 1 回開催しており、本会において相互の情報を交換し、協力・連携体制の構築及び強化を図ることを目的としております。なお、会議終了後懇親会を開催しました。

（総務部）

## 新幹事懇親会

平成 28 年 12 月 9 日（金）11 時 15 分より、校内会議室に於いて、「平成 28 年度（第 92 期）同窓会幹事」と昼食会を兼ねた懇親会を開催しました。

臼田佳彦会長から同窓会活動の紹介を兼ねた挨拶があった後、昨年に続いて、防衛庁技術研究本部第 4 研究所在任中は、主にキャタピラ車両の研究と南極雪上車の研究開発に携われ、第 9 次南極観測越冬隊員としても活躍された第 34 期の喜納淳氏に講演をして頂きました。

講演終了後、食事をしながら、各クラスから 2 名選出された幹事の自己紹介と、20 名の幹事の中から代表幹事 1 名（◎印）、副代表幹事 2 名（○印）が選出されました。

幹事及び担任の先生は、下表の名簿の通りです。

### 平成28年度（第92期）同窓会幹事名簿

（平成29年3月卒業生のクラス別同窓会幹事）

クラス	担任先生	幹 事	
機械A	村山 隆	○岡田 千彰	児玉 康希
機械B	関根 勝	竹内 海斗	樋口 泰紀
機械C	児島 大祐	田附 開智	尾崎 勇斗
電気A	長谷川 浩	酒井 唯登	富井 雄太
電気B	國井 昭博	森田 真吾	坂井 寛希
電気IT	小泉 佐和子	阿部 文哉	上地 悠悟
普通A	毛塚 卓夫	鈴木 柊馬	岡田 侑也
普通B	田中 清江	福島 大涯	長谷 玲七
普通C	湯尻 英明	◎矢野 翔也	渡辺 巧輝
普通D	関根 章道	大原 啓督	○今関 春奈

☆学年主任は、小島健市先生です。

（総務部）

# 新年会

平成 29 年 1 月 28 日 (土) 17 時 30 分より、会場は昨年と同じく品川プリンスホテル・メインタワー15 階「トパーズ 15」にて、現・元教職員並びに昨年卒業の 91 期の若い会員から 26 期 (84 歳) の大先輩、年齢差 65 歳という同窓会ならではの多彩な顔ぶれが一堂に集い、総勢 80 名の参加のもと、盛大に開催されました。



ご来賓に上野雅子理事長様、東京高校同窓会柴田夏男会長様と佐藤達也・松浦みき両副会長様にご臨席を賜り、特別招待として交換留学で東京実業高校に来校され、現在日本の大学に留学されているお二方 (Lily Goldber、Kate O' Donnel) と陸上部OBの稲毛悠太君 (88 期・國學院大学 4 年)、増田将也君 (89 期・法政大学 3 年)、越川堅太君 (91 期・神奈川大学 1 年)、稲毛暉斗君 (91 期・國學院大学 1 年) をお招き致しました。

[※稲毛悠太君と越川堅太君は今年の箱根駅伝にそれぞれの大学の選手として走りました。]

普段は、あまり話す機会がない先生方や先輩後輩の垣根を越えて、和気藹々の懇談が続く中行われたビンゴゲームで盛り上がるなど、大変有意義な楽しい時間を過ごし、最後に全員で校歌を斉唱して閉会となりました。

ご多忙のところ、ご出席頂きました皆様には、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

来年も多くの会員の方々のご参加をお待ちしておりますので、宜しく願い致します。(事業部)



特別招待者(陸上部OBと元留学生)

## 物故者

下記の方が逝去された旨、事務局に連絡がありました。ここに謹んで哀悼の意を表し、心からご冥福をお祈り申し上げます。(敬称略)

卒 期	氏 名	没 年	月
第 17 期	月村 正夫	平成 26 年	月
第 17 期	村松 濱代	平成 28 年	4 月
第 20 期	渋谷 昭仁	平成 27 年	10 月
第 20 期	竹中 郁夫	平成 27 年	11 月
第 20 期	渡辺 次雄	平成 27 年	
第 23 期	若林 行雄	平成 28 年	1 月
第 25 期	中村 喜芳	平成 23 年	1 月
第 34 期	北村 健一	平成 28 年	7 月
第 35 期	小山 宏明	平成	月
第 37 期	石田 全弘	平成	月
第 37 期	石川 幹男	平成	月
第 38 期	和田 信久	平成 27 年	10 月
第 38 期	西尾 義博	平成 24 年	2 月
第 38 期	小池 豊	平成 27 年	4 月
第 41 期	有賀 幸子	平成 27 年	10 月
第 89 期	香川 大樹	平成 26 年	
元教諭	岡野 美和子	平成 28 年	3 月
元教諭	遠藤 幸喜	平成 28 年	10 月

## 第 2 代会長村松濱代氏逝去の報



平成 28 年 4 月 19 日、本会第 2 代会長を務められた村松濱代氏 (享年 92) が逝去されました。ここに生前のご厚誼を深謝申し上げ、謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心からご冥福をお祈り致します。



## 村松濱代大先輩を悼む



常任幹事  
箕輪 弘数 (第 29 期)

平成 28 年 4 月 19 日膵臓癌で黄泉に旅立たれました。誰からも尊敬され、いつも笑顔で接してくれた人柄が偲ばれます。戦争中、母校を 1 年繰り上げて 17 期 (昭和 17 年) で卒業されました。20 歳の時、土浦海軍航空隊に志願し、猛烈な訓練をしている最中に米軍 B29 の爆撃を受け、戦友 14 名のうち 13 名が戦死し、ただ一人だけ生き残った強運の人でした。

戦後の混乱期に京急蒲田駅前にメッキ材料の卸会社を創設。その後 (昭和 44 年)、母校に近い東急多摩川線沿いに新社屋を建てて移転。社名も(株)三松 (さんまつ) に変更し、事業の拡大に伴い湘南営業所、横浜営業所を開設され“メッキ材料の総合商社”として、業界で確固たる地位の企業に育てられました。また、藍綬褒章受章 (昭和 61 年)、東京田園調布緑ロータリークラブ設立に携わり、「ロータリーの手引き」第 7 版 (～2005 年) まで編纂、趣味は弓道、ゴルフ、日本舞踊、写経などと幅広く多趣味でした。

本会では、昭和 47 年 (1972) ～平成 4 年 (1992) の 20 年間 (10 期) に亘って、会長として本会並びに学校の発展に多大な貢献をされ、会長退任後も顧問としてご指導頂きました。また、学校創立 90 周年事業の校舎立替えの際には多大なるご支援をされ、その功績を称え新校舎サウスウイング 1 階に同氏の姓が冠された「村松ホール」が設けられました。

大先輩は 70 歳より 81 歳まで 11 年間で日本の 47 街道を踏破されました。これはまさに超人としか言いようがなく、心から敬服しております。最初に歩かれた東海道 (日本橋～京都三條大橋まで) は、走行距離 540km、歩数 830,700 歩。最後に歩かれた奥の細道 (南千住～大垣まで) は、歩行距離 2,055km、歩数 2,936,100 歩。47 街道総歩行距離 7,394km、総歩数 11,375,200 歩。47 街道の中で、中山道の木曾路の美しさが忘れられず二度歩いたそうです。

波乱万丈の人生を送った大先輩に敬意を表し、衷心よりご冥福をお祈り申し上げます。

[追伸] 47 街道の資料は母校の同窓会室にありますのでご覧下さい。また、本誌にも数多く寄稿して頂きました。執筆記事をご覧になりたい方は、ホームページから本誌のバックナンバーをご覧になってください。

## 岡野先生さようなら



相談役 (元職員)  
飯塚 方子 (第 46 期)

「引っ越しました。遊びにいらして下さい。」

一年ほど前だったかハガキが届いた。年賀状に「遊びに行きますね!」と書き添えたのは、本当にそう思ったからだ。その頃の私は、皇室並みのスケジュール。地域センターや社協の活動その他諸々、現役時よりも忙しく、なかなか時間が上手く使えずに、心にありながら訪ねることも出来ずにいた。一年が経ち時間のやりくりも息の抜き方も覚えたころ、心に引っかかりのあることは一つずつクリアにしていこうと思った。ちょうど家人が登山に出掛けると言う連休の一日。私も!!と実行。

事前にネットでその施設の概要は調べてあった。キリスト教系のその施設は埼玉にある。昼食後くらいに着くようにするには…、えっ!バスが 1 時間に 1 本だ。帰りを考えると 1 時間くらいはお話できるかな?うまく乗り継げば 3 時間足らずで行けそうだ。

天気もよく、風もさわやかなその日。初めての土地はワクワクするしドキドキもする。喫茶店くらいはあるだろうと、早めに出たのが裏目だった。やっぱりバスは 1 時間に 1 本だ。お茶でもして待とうかと思えば何も無い。駅のコンビニで飲み物を買う。見回しても休む所が無い。バス停のベンチで休憩。のどかな所だ。相手はハト、バスも貸切りだ。目的地に到着。本当に静かだ。中に入り受付で尋ねる。「岡野美和子さんに面会に参りました」すると、名簿を見ながら首をかしげる。ハガキを出して「こちらですよ…」と一緒に首をかしげる。「連休で一時帰宅でもされていますか?」少々不安になっていると、穏やかな声と共に岡野先生に似た所長登場。「岡野さんは召されましたのよ」と聞き、動転してしまった。もう少し早くお訪ねすればよかった。「いつですか?」、「3 月 23 日でした」何を話せばよいのか又、いろいろお聞きしてもいけないかと思い。「バスまで 1 時間あるので、ここで待っていてもいいですか」すると、時刻表を持ってきて「走れば間に合うかもしれませんよ。あと 3 分で来ますよ」慌てて走り出す私。余裕で間に合う。滞在時間 5 分。

引っ越したばかりの私の家に「バス 1 本で行けるから」と暑い日にいらしたこと。仕事場でも時々おしゃべりをしたりオヤツを食べたり、時には英訳和訳をお願いしたり、本当にお世話になった。バスや電車で揺られながら、思い出していた。沢山の思い出に浸るには、3 時間の距離も短いものだった。あの時はびっくりが先で涙も出なかったが、込み上げるものがあり、サングラスを何度もかけ直す。だから、心に気にかかるものがあつたら、なるべく早く解消しなければいけない。との思いを強くした 1 日だった。心の奥深いところから、ご冥福をお祈りいたします。

東京実業高校同窓会ホームページアドレス

<http://www.tojitsu-dosokai.com/>

# 同窓会と私



顧問 (前会長)  
本田 位公子 (第 34 期)

はじめに皆様にお礼申し上げます。

私が第 6 代同窓会々長として、長い間責務を遂行出来ましたことは、学校はじめ同窓会役員並びに会員の皆様方、そしてクラスメートの方々のご支援・ご協力あつてのことと心より感謝しております。この紙面をお借りしましてお礼申し上げます。

確か昭和 54 年か?55 年のことだったと記憶しておりますが、クラスメートから一本の電話がかかってくる「同窓会の会議があるので、学校に来てほしい」との用件でした。私の家は学校に近かったこともありピンチヒッターと思ひ出席したのが、同窓会と私の出会いでした。

その会議は地下にあった学生食堂で行われました。私は卒業以来、校内に足を運ぶことがなく、食堂も体育館も校舎も新しく綺麗になっており、時代の流れを感じました。今顧みれば、私自身が学校の慶事である 60 周年祝賀会が高輪プリンスで行われた時から、70 周年、80 周年、90 周年と母校の発展を先輩の方々と一緒に身近に接してこられたことを誇らしく、幸せに感じています。

当時の同窓会は、2 代目会長の村松濱代先輩を囲み和気藹々と会議が行われていましたが、同窓会から卒業生にお知らせするにも名簿がなく、そこで東京実業の全卒業生を 1 冊の名簿にまとめたものを作成することになり、表紙に 3 本のラインを入れ、1 本目は昼間の卒業生、2 本目は夜間の卒業生 (螢窓会)、3 本目は専門学校卒業生 (五葉会) を表した名簿を作成しました。この名簿作成にはとても難儀致しました。

また、名簿の制作費や同窓会の活動費などに充てるため、年会費 3,000 円を集めることとなり、振込依頼用紙を会員に郵送してお願いしましたが、振り込んで下さる方は殆どなく、そこで村松濱代会長が当時の井上稔校長 (第 7 代校長) に相談をし、在校生が卒業時に終身会費として納めてもらう案が決まり、現在に至っています。

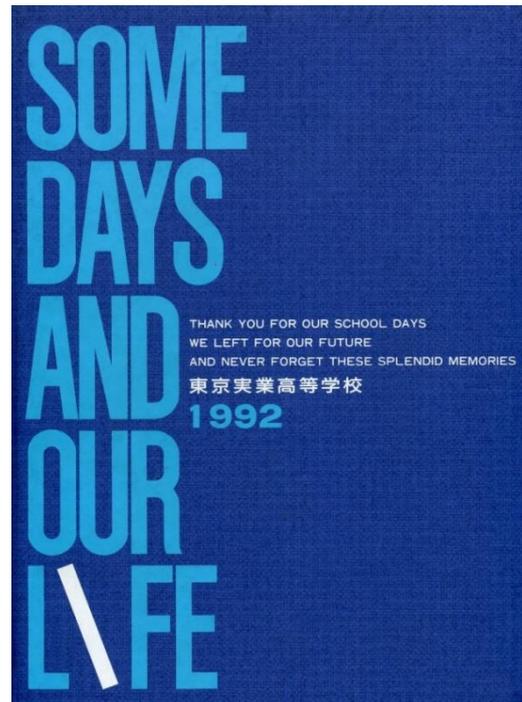
併せて、同窓会会報の発行もすることとなり、その会報に学校の関連記事を半分載せることで合意し、平成 2 年 6 月に創刊号が発刊となりました。

お陰様で今では定期総会をはじめ、新年会、懇親旅行会、そして東実祭にも参加させて頂き、諸先輩方のご尽力もあって、若い卒業生の方にも同窓会の活動が認知されるまでになりました。

会員の皆さん、クラス会などに同窓会のイベントを上手に活用して下さい。また、会報にも投稿下さいますれば幸いです。これからも皆様の同窓会を皆様の手で益々盛り上げて頂きたくお願い申し上げます。最後になりましたが、母校の益々のご発展と皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

## 第 67 期普通科 A・B 組 同窓会開催

井上 清詞 (第 67 期・普通科)



2016 年 10 月 22 日 (土) 午後 6 時から、蒲田商店街の奥の店で、1992 年 3 月 (第 67 期) 普通科 A・B 組卒業の仲間 11 名と、A 組担任小野先生、B 組担任北井先生に参加をいただき、小規模ながら同窓会が開かれました。

卒業以来、24 年ぶりに会った仲間もいましたが、顔も名前も覚えていたので、違和感なく、うち解けて話すことができました。小野・北井両先生は東実をすでに退職されましたが、山行、旅行などの趣味を楽しんでおられるようで、まだまだ、老いるような雰囲気ではありませんでした。

我々、同窓生は、徐々に高校時代の顔に戻り、青春を過ごした、日々の思い出がよみがえりました。やんちゃだったあの頃、遅刻もせず、きまじめだった頃、部活に一生懸命だった頃、勉強よりも友達のつきあいが中心だった頃など、様々に語り合ううちに、思いがけない発見をしたり、自分を懐かしんだり、今までの人生で、東実 3 年間は、意外にも大きな時間であったことに気づいた同窓会。先生も我々も、いつまでも元気で、純粋な時代を語り合いたい思いを胸中に、来年また会うことを約束し、会を終了しました。



出席者一同 (著者は前列一番右端) -2016.10.22-

## 同窓会新年会と米国での近況

竹村 和治 (第 54 期・普通科)

昨年平成 28 年 1 月 30 日 (土)、普通科一期生として同窓会の新年会に参加させて頂きました。長年米国に在住していることもあり、同窓会は元より同窓会の新年会は初めての参加となりました。同じテーブルには上野雅子理事長を始め、東実、東京高校のトップの皆様、同窓会の大先輩の皆様と同席させて頂きました。他のテーブルには、懐かしい面々もお見受けでき、在学当時を思い出し非常に嬉しく思いました。たまたま日本への出張のタイミングと合ったこともあり、新年会にお誘い頂いた上野理事長にはこの場を借りてお礼申し上げます。

また、新年会の翌日には東実在籍当時の担任、北井元副校長と普通科の同級生数名とも会うことができました。



(28年同窓会新年会にて：著者は後列右端)

話は変わりますが、現在私は南カリフォルニア、ロサンゼルス近郊のトーランス市に在住しています。現在の仕事は自動運転技術関連のソフトウェア開発等、IT ビジネスの企業経営に携わっています。トランプ政権となり米国第一主義の傾向は一層強まりますので、在米日系企業のみならず米国社会への貢献にも寄与できるよう日々励んで行きたいと思っております。自動車社会の米国では EV (電気自動車) など自動車のエコ化も徐々に進んできています。エコと言いますと、究極のエコな乗り物は自転車です。米国でも自転車愛好家は多く、私もその 1 人。週末は海沿いを走って仕事のストレスを発散し、気分転換を図っています。皆様も南カリフォルニアへお越しの際は是非お声掛けください。



著者とエコな愛車

## 返信ハガキ備考欄より

平成 28 年新年会 (1 月 30 日開催) 及び平成 28 年定期総会・懇親会 (6 月 4 日開催) 開催のご案内通知の「返信ハガキの備考欄」の記述文を抜粋しました。

### 新年会 (2016. 1. 30)

**中島 實(第 28 期)** 本年も宜しくお願い致します。元気です。毎朝 30km、MTB (マウンテンバイク) 走りが私の健康の「ひけつ」です。

**長谷川 敏彦(第 45 期)** 皆様の新たな幸多い一年でありますようお祈り致します。知念校長 (同期) にもよろしく!

**斉藤 紀夫(第 34 期)** 会長退任とのこと長い間ご苦勞さまでした。喜納から聞きました。(本田会長へ)

**米田 仁昌(第 37 期・元職員)** 役員の皆さんに宜しく。本田会長さん長年に亘ってご苦勞様です。感謝!

**佐藤 淳一郎(第 40 期)** 元気です。70 歳、学生時代は陸上でしたが、現在テニスで青春しています。皆様に宜しくお祈りします。

### 定期総会 (2016. 6. 4)

**原川 清(第 25 期)** 毎年開催する東実のクラス会は、私の老後の人生にとって楽しみの宝物です。クラスメートの皆様が健康に留意され元気に過されることを願っております。

#### 山崎 誠治(第 29 期) 「私の思い出」

戦後の混乱期の昭和 23 年に中学に入学しました。初めは新潟鉄工の仮校舎で、後に校舎が完成して引っ越し、中学・高校と 6 年間学びました。中学校は私達が卒業したのが最後になり、誠に感慨深いものがあります。ふと、脳裏に浮かぶ忘れられない私の思い出です。

**石川 サカエ(第 32 期)** 私の勤務している会社にとっても真面目な青年が入社しました。な〜んと! 東実の機械科卒の杉本君です。立派に仕事をこなしてくれて大助かりしています。村山先生にお世話になったとのことでした。どうも有難うございました。

**小笠原 満枝(第 32 期)** 同窓会報懐かしく拝見致しております。私もお陰様で元気に楽しく過ごしております。

**浜住 美美枝(第 34 期)** 熊本地震 (H28. 4. 14~) が速く収まることを心より祈るばかりです。51 年前、新潟地震に遭い生後 1 ヶ月の長女を背負いながら生活したことを思い出します。健康第一、そして平常心です。

**鈴木 正(第 34 期)** 27 号会報に寄稿させて頂き有難うございました。入学生には是非新聞を読み世界を知るようにおすすめて下さい。社会に出て多く役立つと思います。

**桜井 忠良(第 36 期)** 同総会報有難うございます。36 期の石原君の寄稿文読みましたよ! 5 人衆の一人です。

**山崎 宏志(第 37 期)** 平成 27 年 6 月 28 日に川崎でクラス会を開催した。菊池篤先生を迎えて、なお斉藤和男氏が出席された。平成 28 年度も再会しようと計画中です。卒業時の荻村先生のことが気になっています。先約があるため今回は欠席させて頂き下さい。

**栗原 信子(第 37 期)** 同窓会報いつも有難うございます。懐かしく拝見させて頂いております。

**本田 俊弘(第 41 期)** 連絡いつも有難うございます。同窓会報はいつも楽しく隅から隅まで見させて頂いております。今回は旅行日と重なり誠に残念ですが欠席です。

**桜井 憲一(第 41 期)** 同窓会報いつも楽しみに読ませて頂いています。歳を重ねたためか高校時代がとても懐かしく思います。修学旅行は東京オリンピックの開催中で、バレーボール女子が優勝したのを鹿児島島の宿で見ました。オリンピックもう一度見るぞ〜。

## 平成 29 年 (第 37 回) 定期総会 開催のお知らせ

平成 29 年 (第 37 回) の定期総会は、下記の要領で開催いたします。

記

日時：平成 29 年 6 月 3 日 (土)

午後 3 時 00 分～午後 6 時 00 分

場所：プラザ・アペア (蒲田駅南口)

会費：3,000 円 (懇親会参加者のみ)

総会終了後に懇親会を開催しています。

卒業後 3 年以内 [平成 27 年 3 月卒業 (第 90 期)～平成 29 年 3 月卒業 (第 92 期)] の会員は、ご招待ですので、懇親会の参加費は無料です。

各期卒業クラスの幹事の方々、クラスメートの皆様お誘い合わせのうえ、ぜひご出席ください。(総務部)

## ITソリューションサービス



株式会社 KHI サービス

<http://www.khjs.co.jp/>

〒231-0023 横浜市中区山下町224番地1  
山下町Kビル7階

TEL:045(226)3006 FAX:045(226)3007  
第 42 期 代表取締役社長 臼田 佳彦

## 美しい日本語を大切に

株式会社 佐々木印刷所

☎146-0095

東京都大田区多摩川1丁目18番5号

TEL.03-3758-0710

FAX.03-3758-2821

第56期 佐々木 健

## 電気通信工事関連事業

(平成 26 年度川崎市優良業者表彰受賞)

## アイ通信工事株式会社

〒211-0037 川崎市中原区井田三舞町 17-55

TEL:044(798)3201 FAX:044(798)3203

E-mail: aitsusin@athena.ocn.ne.jp

第41期 会長 市川 達雄

## スポーツのことなら!

しろがね

## 白銀スポーツ

ユニホーム・スポーツ用具  
用品・施設・工事一般  
カップ・賞品・トロフィー

〒143-0024 東京都大田区中央8-29-7

TEL (03) 3754-8679 FAX (03) 3754-4845

第37期 白銀 正明

## uno CO.LTD.

ビジュアルプランニングのパートナー  
写真の撮影・編集・印刷・製本まで

有限会社 ウーノ 03-3891-6735

〒110-0003 東京都荒川区荒川3-6-4  
KATO P.P 2F

## 一企画・デザイン・印刷全般一

## トータルプラン株式会社

〒144-0032 東京都大田区北糀谷1-18-14  
TEL (03) 5736-3447 FAX (03) 5736-3448  
E-mail: total@wing.ocn.ne.jp

第38期 川邊 國造



東京都大田区南馬込5-22-10

TEL (03) 3771-7100

携帯 (080) 5375-8552

営業時間 17:00~23:00

月曜定休 (祝日の場合営業)

パソコン・一般家電 修理・販売  
お気軽にご相談下さい



## 有限会社 深谷電器

〒145-0073 東京都大田区北嶺町 29-16

(御嶽山商店街内)

電話: 03(3728)1446

E-mail: NQF15990@nifty.com

第 70 期 代表取締役 深谷和弘

## 事務局だより

### ☑ 主な同窓会行事と参加のお願い！

新年会	1 月	(最終土曜日)
定期総会	6 月	(第 1 土曜日)
懇親旅行	9 月	(上旬～中旬)
東実祭	11 月	(中旬の土・日曜日)

同窓会の行事は、毎年上記の時期に開催予定となっております。詳細につきましては、ホームページで随時お知らせしておりますので、閲覧頂くか事務局にお問い合わせください。なお、申込みは、電話、メールいずれでも構いません。会員（東京実業高校の同窓生・元教職員）の方であればどなたでも参加出来ますので、先輩・同期・後輩の方にご連絡頂き、お誘い合わせて是非ご参加ください。（事務局）

### ☑ 広告掲載のお願い！

#### （会報誌）

本会報誌に広告を掲載して頂ける企業や事業主様を募集しております。掲載料金（消費税込み）は、縦 49mm × 横 81mm サイズは 5,000 円、1/2 サイズは 2,500 円です。各号の締切日は、毎年 12 月中旬となっておりますので、掲載をご希望される場合は、事務局に電話またはメールでお申込みください。

#### （ホームページ）

ホームページのトップページにバナー広告を掲載して頂ける企業や事業主様を募集しております。掲載料金は 1 年間 20,000 円（消費税込み）です。詳細につきましては、ホームページの「広告バナー掲載について」の募集要項をご覧ください。随時受け付けておりますので、ホームページの「お問い合わせメール」でお申込み頂くか、事務局に直接電話でお申し込みください。（広報部）

### ☑ 写真及び随筆の募集について

本会報誌、創立 100 周年記念号の出版にあたり、会員の皆様方からの在校時代の思い出の写真や随筆文を募集しております。ご協力頂ける方がいらっしゃいましたら事務局まで、お申し出くださいますようお願い申し上げます。（広報部）

### ☑ 会員名簿及び法令遵守について

ホームページを閲覧される会員の方が年々増えており「お問合せフォーム」から住所変更などのメールを頂くほか、「同窓会名簿が欲しい」、「同期生の〇〇さんの住所を教えてください」などのお問合せも多々あります。

会員名簿は、製本せず電磁的記録媒体にて保管管理し、ご連絡頂いた変更事項は、随時データを更新して管理しております。なお、個人情報に関する問い合わせについては、法令遵守や悪用防止のため本人の同意を得た場合のみお応えしております。

何卒ご理解とご協力のほど宜しくお願い申し上げます。（事務局）

## 編集後記

本会報誌（東実同窓会報第 28 号）の発行に際し、ご寄稿をくださいました皆様方には、大変お忙しいところ、ご執筆して頂き誠に有難うございました。

また、広告掲載にご協力くださいました企業様には、厚く御礼申し上げます。

さて、平成 28 年度の同窓会は、6 月に開催された定期総会にて役員改選があり、会長は本田位公子前会長から臼田佳彦会長に変わりましたが、新体制のもとに事業活動は滞りなく遂行されましたことを報告いたします。

また、母校では、キャリア教育優良校として文部科学大臣より表彰され、生徒達は平成 26 年度に竣工された新校舎の素晴らしい環境のもと、国家資格や各種検定試験に多数が合格されるなど勉学に励むだけでなく、サッカー、駅伝、野球、マーチングバンドなどクラブ活動でも輝かしい成績を残すなど大変喜ばしい一年でした。

会報誌は本号から、組織変更により会報部と企画部が統合された広報部が出版することになりました。

今後も母校の現況や同窓会の活動、会員からの寄稿文などを掲載し、母校と同窓会の情報発信誌として、より充実した内容で皆様のご要望とご期待にお応えして参りますので、引き続きご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。（広報部員一同）

	<b>東実同窓会報 No. 28</b> <b>広報部</b>	
	責 任 者	川邊 國造 (副会長)
部 員	箕輪 弘数 (常任幹事)	
	戸田 三光 ( " )	
	神野 行雄 ( " )	
	瀬戸 盛義 ( " )	
	高山 俊一 ( " )	
発 行 日	平成 29 年 3 月 1 日	
編 集	東実同窓会報 広報部	
発 刊	東京実業高校同窓会	
事 務 局	〒144-0051 東京都大田区西蒲田 8-18-1 TEL: 03-3732-4481 FAX: 03-3732-4456 Mail: info@tojitsu-dosokai.com	
[携帯]	TEL: 080-1186-8945 Mail: tojitsu-dosokai@docomo.ne.jp	
[ホームページ]	URL: http://www.tojitsu-dosokai.com/	
発 行 人	臼田 佳彦 (会 長)	
編 集 人	川邊 國造 (副会長)	
編 集 協 力	小畑 雅一 (副校長) 小野 博司 (教 諭) 本田 位公子 (顧問) 米倉 美鈴 (事務局)	
制 作	トータルプラン株式会社	